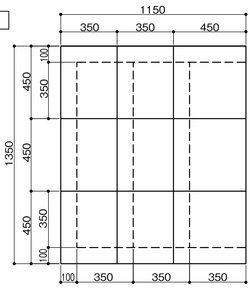
ニュートステップ／ダルストーンステップ

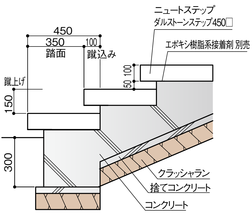
参考施工図

■ 蹴込み寸法100mm以下のとき

平面図

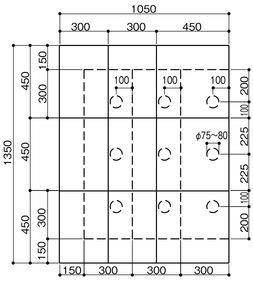


断面図

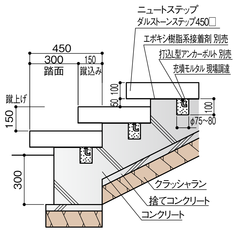


■ 蹴込み寸法101～150mmのとき

平面図

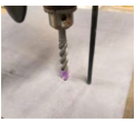


断面図



施工要領

1 標準施工図のように階段基礎工事を行います。蹴込み寸法が101～150mmにするときは、標準施工図の位置にボイド管(φ75mm)を埋め込んでおきます。ボイド管埋め込み深さは100mm以上とします。
アンカー位置は製品の端部から100mm内側にします。
蹴込み寸法が100mm以下の時は、アンカー施工は必要ありませんので②③⑤は飛ばしてください。

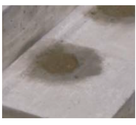


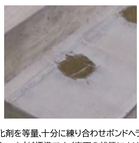
2 製品を養生し裏返します。アンカー位置を罫書き、コンクリート用ドリルを用いてφ14.5×深さ45mmの穴を開けます。ドリルの刃の深さ45mmの位置にテープなどで印をつけておきます。穴径、穴深さを厳守してください。ダストポンプで切粉の清掃をします。

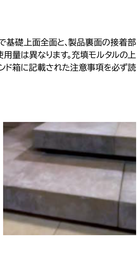
3 穴の深さが45mmであることを確認し、グリップアンカーを打込み棒で打ち込みます。アンカーをねじ込み、ナットで固定します。

4 基礎上面と、製品の裏面に凹凸がある場合は、サンダー等で削って平らにしておきます。レイタンスやほこり、汚れを完全に除去します。取り除かないまま施工すると、接着強度が極端に低下し、脱落・剥がれの原因となります。(ワイヤーブラシ等でしっかりと除去し、洗車ブラシ等を用いて流水で十分に洗い流してください。(ボンドE250は湿潤面でも接着可能です。)

5 ボイド管穴内と周囲を水湿しし、モルタルを充填します。アンカーを挿入したときにあふれ出ないように、2mm程度低く充填してください。周囲が汚れたときは、濡れたウエスなどで清掃してください。





6 同時にボンドE250の主剤と硬化剤を等量、十分に練り合わせボンドヘラで基礎上面全面と、製品裏面の接着部分全面に塗布します。使用量は1kg／㎡が標準です。(表面の状態により使用量は異なります。充填モルタルの上には塗布しないでください。ボンドE250は湿潤面でも接着可能です。ボンド箱に記載された注意事項を必ず読んでください。)

7 ボンド塗布後、直ちに貼り合わせます。アンカーを充填モルタルに内に挿入し、確実に固着されるように、ゴムハンマーなどで振動を与えながら施工します。ボンドが圧着されていることを確認します。石などが挟まっている、大きな凹凸があるなどしてボンドが圧着されていない場合は、それを取り除きやり直してください。最低5～6時間は動かぬように固定、養生してください。温度が5℃以下になると極端に硬化が遅くなります。5℃では3日間養生してください。